

哲學研究

第三十三卷 第八册

第三五百三號

昭和二十一年十月五日發行

倫理學の現代的使命……………文學博士 島 芳 夫

確 實 性……………文學士 長 澤 信 壽

——聖アウグスティヌス研究・その一——

アリストテレスに於ける實踐の構造（承前）……………文學士 安 藤 孝 行

——靈魂諸部分の聯關——

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部

京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究会ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一 毎月一回哲學研究ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名) 京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名) 委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年三十圓、前後二期ニ分チテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	澤瀉久敬
文學士	重澤俊郎
文學博士	島芳夫
文學士	國原太郎
文學博士	西谷啓治
文學博士	久松眞一
文學博士	本田義英
文學士	松村克己
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學士	井島勉

だから。」

二九〇 註一六十五條照。

二九一 De An. III. 10. 433a 20.

二九二 Ibid. 30b 11.

二九三 Motu. An. 6. 702b 15. 「蓋し凡ゆる動物は或る目的の爲に動き又動かされる。それ故このもの即ち目的が之等凡てのものにとつて運動の目標である。そして我々は動物を動かすものは理知、表象、願望、欲望であるのをみる。しかるに之等凡ては理性と欲求に歸せられる。何故ならば

表象と感覺は理性と同じ領域をもつからである。それは他の箇所 (De An. III. 3) で述べた様な點に異るが、凡て判別的である。そして願望や意氣や欲望は凡て欲求であり、意思は理知と欲求とに共通に屬する。かくして第一に欲求對象と理知對象とが動かす。しかも凡ゆる理知對象ではなくして實踐的なものの目的に限る。それ故動かすものは善きものの中でこの様なもの(實踐的なもの)であつて、凡ゆる其きもではない。何故ならば、この様なものの爲に他のものがある限りに於て、或はある他のものの爲にあるところのもの目的である限りに於て之等が動かすのだからである。」

二九四 Motu. An. 6. 701a 2. 「この事からして又明かなことは、移動は生起するものの中で生起する最後のもののであるのは故あることであるといふ事である。何故ならば動物は感覺や表象に關して何か變化させられることにより、欲求又は意思を通して運動し前進するからである。」

アリストテレスに於ける實踐の構造 (承前)

233. この様にして動物は運動したり行動する様に催される。運動することの最終の原因は欲求であり、欲求は或は感覺により、或は表象や思惟による。即ちなすと欲することを或ものは欲望又は意氣により、或るものは欲求又は願望により、或はつくり、或はなすのである。」

前 號 目 次

「ゼルアン教」について…………… 足利惇氏

アリストテレスに於ける實踐の構造
— 聖徳部部分の略論(承前) —…………… 安藤孝行

佛敎に於ける知識の確實性の論究…………… 武邑尙邦

寸心先生日記抄……………

會 告

- 一 本會へ入會希望者ハ京都市田中西浦町弘文堂書房
内京都哲學會係宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ
送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會(等編輯事務以外ノ一切)ノ事務
ハ弘文堂書房内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費ハ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」
宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致ス
ベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌
等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する
件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り
下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券十錢
御送付下され度候

昭和二十一年十月十日印刷納本
昭和二十一年十月十五日發行

編輯人 京都哲學會

右代表者

發行兼印刷人 澤瀉久敬

印刷所(京都七弘) 坂淺太郎

配給元 日本出版配給株式會社

發行所 弘文堂書房

町京都神田區駿河臺四ノ四

定 價		冊 數	定 價	郵 稅
一冊	冊	金三圓半錢	金十五錢	
六冊(前金)	冊	金二十一圓	金九十錢	
三冊(前金)	冊	金四十二圓	金一圓半錢	

(誌代の變更による會費の過不足は
半年又は一年毎に精算いたします)